

令和7年度  
前橋育英高等学校  
アメリカ・ロサンゼルス研修報告書



# アメリカ・ロサンゼルス研修 日程表

日数	日付	時間帯	交通手段	スケジュール
1日目	8/24 (日)	午後	バス	学校集合、成田空港へ出発
			飛行機	シンガポール航空にてロサンゼルス国際空港へ出発
				ロサンゼルス空港到着
			バス	California Polytechnic State Universityへ移動
			ホストファミリー送迎	ホストファミリーと対面、ホームステイ先へ移動
2日目	8/25 (月)	午前	ホストファミリー送迎	California Polytechnic State Universityにてオリエンテーション、プレースメントテスト、キャンパスツアーホームステイ
		午後	バス	In-N-Out Burgerにてウェルカムランチ
				Hollywood見学
		ホストファミリー送迎		ホームステイ
3日目	8/26 (火)	午前	ホストファミリー送迎	California Polytechnic State Universityにて語学研修
		午後	バス	St. Paul High School訪問
				ホストファミリー送迎
4日目	8/27 (水)	午前	ホストファミリー送迎	California Polytechnic State Universityにて語学研修
		午後	バス	California Science Center見学
				ドジャース観戦【Dodgers VS Reds】
		ホストファミリー送迎		ホームステイ
5日目	8/28 (木)	午前	ホストファミリー送迎	California Polytechnic State Universityにて語学研修
		午後	バス	University of California, Los Angles訪問、キャンパスツアーホームステイ
6日目	8/29 (金)	午前	ホストファミリー送迎	California Polytechnic State Universityにて語学研修
		午後	バス	Round Table Pizzaにてフェアウェルランチ、修了証授与式
				Ontario Mills Outlet
		ホストファミリー送迎		ホームステイ
7日目	8/30 (土)	午前		ホストファミリーとお別れ
		午後	バス	ロサンゼルス国際空港へ出発
				飛行機
8日目	8/31 (日)	午後	飛行機	シンガポール航空にて成田へ出発
			バス	成田空港到着
				帰校

# アメリカ・ロサンゼルス研修 1日目 (8/24・日)

## 1日目(8/24・日) 行程表

時間	活動	備考
12:00	学校集合	
13:00	成田空港へ出発	バスで移動。
15:00	成田空港到着	
19:50	ロサンゼルス国際空港へ出発	シンガポール航空（遅延）。
13:00 (8/24・日)	ロサンゼルス国際空港到着	到着後、バスで California Polytechnic State University へ移動。
15:00	ホームステイ先へ移動	California Polytechnic State University でホームステイファミリーと顔合わせをし、ホームステイ先へ移動。

ロサンゼルス研修の初日。生徒は保護者と12時に南校舎の南ビデオ室に集合しました。バス到着後、生徒は荷物を載せて乗車し、成田空港へ向かいました。なお、ISAスタッフの登坂貴さんが添乗員として同行しました。ほとんどの生徒にとって初めての海外だったため、皆、期待と緊張の面持ちでした。

成田空港到着後、同じくISAスタッフの清水智香子さんが合流し、登坂さんと出発前の説明を生徒にしました。その後、スーツケースを預けて搭乗ゲートへ移動しましたが、フライトが遅れたため、予定よりも1時間以上遅れて出発しました。約11時間の長いフライトでしたが、生徒たちは機内で映画や音楽を楽しんだり、機内食を食べたりして快適に過ごしていました。

ロサンゼルス国際空港に到着すると、天気は快晴で湿気がほとんどなく、とても爽やかな気候でした。ただし、ロサンゼルスは砂漠地帯で乾燥しているため、水分補給をこまめに行う必要がありました。入国手続を済ませて荷物を受け取ったのち、実習校である California Polytechnic State University（以下 Cal Poly）に向けてバスで移動しました。なお、今回の研修では、同大学を拠点として語学研修及び実地研修が行われました。移動中、生徒たちはバスの車窓から見える景色に目を奪われ、アメリカの国土の広さに圧倒されました。

「なんて広いんだろう」、「高速道路の車線が7本もある」、といった声が聞かれ、異国の地に降り立ったという実感が、少しずつ芽生え始めていました。

Cal Polyの駐車場に着くと、ホストファミリーが生徒たちを出迎えていました。生徒たちは初対面で緊張しつつも、英語とジェスチャーを精一杯に駆使して挨拶と自己紹介をしました。皆、8日間の海外生活と異文化交流に期待を膨らませていました。その後、ホストファミリーの送迎で各自ホームステイ先へ移動しました。

●California Polytechnic State University(カリフォルニア州立工科大学、通称 Cal Poly)  
California Polytechnic State University カリフォルニア州サンルイス・オビスポに位置する州立大学で、全米でも高い評価を受けている実践重視の大学です。「Learn by Doing(実践を通して学ぶ)」を教育理念として掲げ、講義だけでなく、実験・実習・フィールドワークを重視した教育を行っている点が大きな特徴です。

特に工学、農学、環境科学、ビジネス分野に強みを持ち、学生は専門分野の知識を実社会に結びつけながら学んでいます。広大なキャンパス内には、農場や研究施設、最新の教育設備が整備されており、実践的な学習環境が整っています。



成田空港へ出発



成田空港で集合写真



成田空港にて ISA の登坂さんと  
清水さんによる出発前の説明



搭乗機（シンガポール航空）



アメリカ・ロサンゼルス到着



Cal Poly①



Cal Poly②



ホームステイ家族と初対面①



ホームステイ家族と初対面②



ホームステイ家族と初対面③



ホームステイ家族と初対面④



ホームステイ家族と初対面⑤



ホームステイ家族と初対面⑥



ホームステイ家族と初対面⑦

## アメリカ・ロサンゼルス研修 2日目 (8/25・月)

### 2日目(8/25・月) 行程表

時間	活動	備考
9：00～ 12：00	California Polytechnic State University にて語学研修及びキャンパスツアー	プレイスメントテストを受けたのち、 習熟度別で授業を実施（2クラス）。
13：00	ウェルカムランチ	In-N-Out-Burger にて昼食。
15：00～ 18：00	Hollywood 見学	Chinese Theatre と Dolby Theatre 等 を見学。
19：00	ホームステイ先へ移動	

ロサンゼルス研修2日目。天気は快晴で日差しも強いが、湿度がほとんどないため日陰にいれば涼しく、爽やかな暑さでした。日本の夏とはまるで違い、とても快適でした。

この日から語学研修及び実地研修が本格的に始まりました。生徒たちは9時前にホストファミリーの送迎で Cal Poly の駐車場に到着しました。生徒たちに宿泊の感想を尋ねると、「食事が美味しかった」、「家族といろんな話ができた」、「買い物に連れて行ってくれた」、といった前向きなもので、ホストファミリーとの交流やアメリカ様式の生活を満喫したようでした。一方で、時差ボケのため本調子が出ない生徒もあり、プレイスメントテスト（クラス分けテスト）に悪影響を及ぼさないかと心配していました。

語学研修は9時から始まり、まずは Encompass Experience（現地教育サポート団体）のルーク校長によるオリエンテーションがありました。学校の紹介と研修の概要についての説明が終わると、プレイスメントテストが行われました。なお、同テストは40分間の筆記試験であり、クラス分けを行うために実施されました。その後、キャンパスツアーに出掛け、アメリカの広大な大学キャンパスを見学し、図書館をはじめ学生生協やフードコートなどに立ち寄りました。生徒たちは日本の大学とのスケールの違いに圧倒されました。また、この日から新学期が始まったため、大勢のフレッシュマン（新入生）が新しい学生生活をスタートしており、部活の見学や勧誘などでキャンパスはとても賑やかでした。そして、キャンパスツアーから戻ると、プレイスメントテストの結果を踏まえて2クラスに分かれて英語授業に参加しました。

午前の語学研修が終わると、In-N-Out-Burger というハンバーガー店で昼食を取りました。この昼食は Encompass Experience がウェルカムランチとして開催し、生徒たちを歓迎してくれました。なお、In-N-Out-Burger は、ドジャースの大谷選手が「アメリカで一番好きなハンバーガー」と公言したことでの日本でも有名になりました。

昼食後、ハリウッドへ移動し、ハリウッドサインをはじめ、チャイニーズ・シアターやドルビー・シアターを見学しました。ドルビー・シアターはアカデミー賞授賞式が行われる際にレッドカーペットが敷かれる場所であり、そこで記念写真を撮りました。約1時間半の自由行動があり、生徒たちは各要所で記念撮影をしたり、Hard Rock Café などのお土産店で買い物を満喫しました。

## ●Hollywood (ハリウッド)

Hollywood はアメリカ・ロサンゼルスに位置する、世界的に有名な映画産業の中心地です。映画スタジオや劇場が集まり、エンターテインメント産業の象徴的な場所となっています。ハリウッド・ウォーク・オブ・フェイムやチャイニーズ・シアターなどの名所は、映画文化を身近に感じられる観光地として高い人気を誇っています。



ルーク校長によるオリエンテーション



プレイスメントテストの様子



Cal Poly キャンパスツアー



In-N-Out-Burger でウェルカムランチ



Hollywood



チャイニーズ・シアターで集合写真

## アメリカ・ロサンゼルス研修 3日目 (8/26・火)

### 3日目(8/26・火) 行程表

時間	活動	備考
9：00	California Polytechnic State University に集合	バスで St. Paul High School へ移動。
10：00	St. Paul High School 到着	
10：30	オリエンテーション	各生徒に St. Paul の学生 1 名がペアとして付いた。その後、各ペアで行動を共にした。
11：00	授業参加	ペア毎に数学や地理などの授業に参加。
12：00	「エッグ・ドロップ」	体育館にてグループ活動。
13：00	昼食	カフェテリアで食事。
14：00～	英語学習	
17：00		
18：30	ホームステイ先へ移動	

ロサンゼルス研修3日目。この日は St. Paul High School (以下 St. Paul 高校) という地元の高校を見学しました。生徒たちは9時に Cal Poly の駐車場に集合したのち、バスで St. Paul 高校へ向かいました。学校到着後、ミラー先生 (St. Paul の高校教諭) 主導のもと、オリエンテーションを経て St. Paul 高校の学生たちと顔合わせをしました。各生徒に St. Paul 高校の学生 1 名 (バディ) がペアとして付き、その後の活動はバディと行動を共にすることになりました。お互いに自己紹介をし、ある程度打ち解けたのち、生徒たちはバディの授業に 1 コマ参加しました。国語、数学、地理などアメリカの学校の授業を直に体験することができ、生徒からは、「数学は日本よりも易しい」、「ペア活動のときに英語で話ができた」などのコメントがあり、着実なコミュニケーション能力の向上を実感していました。

その後、体育館へ移動して「エッグ・ドロップ」というアクティビティに取り組みました。お題は、「卵を高い位置から落としても割れないよう、様々な材料を使って卵を補強する」というものでした。16のグループに分かれると、生卵 1 個、テープ、ごみ袋、ストロー数本が各グループに配されました。約 30 分間工作に取り組み、生徒たちは受け身にならずにお互いに意見やアイディアを出し合いながら作品を完成させました。アクティビティの後半では、実際に卵を落として工作活動の成果を披露しました。結果は、3 グループが割らずに成功しました。授業の終わりにミラー先生から、「失敗しても大丈夫。このアクティビティは、私たちは学ぶためにここにいることに気づくためのものだ。また、お互い共同して知恵を出し合うことの大切さを知るためのものだ」というメッセージがありました。最後に St. Paul 高校から生徒全員に学校名の入った T シャツと、今回の訪問及びアクティビティに参加した証として、修了書が贈られました。

## ●St. Paul High School (セイント・ポール・ハイスクール)

St. Paul High School は、カリフォルニア州ロサンゼルス郡サンタフェスプリングスに位置するカトリック系の共学私立高校です。1956年に創立され、学問・信仰・人格形成を重視した教育を行っています。

同校は大学進学を見据えたカリキュラムに力を入れており、英語、数学、理科、社会といった基礎学力の向上に加え、ディスカッションやプレゼンテーションを通した主体的な学びを重視しています。また、スポーツや課外活動も盛んで、チームワークやリーダーシップを育成する教育環境が整っている点も特徴です。進学実績として、UCLA (カリフォルニア大学ロサンゼルス校)、UCB (カリフォルニア大学バークレー校)、スタンフォード大学など名門大学の合格を誇っています。



St. Paul High School



St. Paul の学生と交流①



St. Paul の学生と交流②



Egg Drop の様子



ミラー先生から修了書授与①



ミラー先生から修了書授与②

## アメリカ・ロサンゼルス研修 4日目 (8/27・水)

### 4日目(8/27・水) 行程表

時間	活動	備考
9：00～ 12：00	California Polytechnic State University で語学研修	習熟度別で英語の授業を受講。
13：00～ 14：30	Little Tokyo で昼食	各自レストランで食事。
15：00～ 16：00	California Science Center 見学	宇宙やロケットについて学習。
16：40～ 21：00	Dodger Stadium で野球観戦	Dodgers vs Cincinnati Reds を観戦。
22：00	ホームステイへ移動	

ロサンゼルス研修4日目。この日の午前はCal Polyで習熟度別の英語授業を受けました。主にコミュニケーション能力を培うための学習を通して、日常会話で使う表現や基本的な文法について学びました。ペア活動や先生との英会話など、実践的な取り組みが多く見られました。

午後はバスで Little Tokyo へ移動し、生徒たちは食事と観光を満喫しました。Little Tokyo は日本の街並みや食文化が溢れる区域であり、まるで日本の繁華街を歩いているかのような臨場感でした。昼食の際、生徒たちは各自でお店を選び、うどん、お寿司、ラーメンなど久しぶりの日本食に心を躍らせていました。一方で、日本との物価の違いに唖然とする生徒もいました。また、フードコートではなく、生徒のみでレストランで食事をするのは初めてだったため、特に支払いに試行錯誤していました。「支払いは現金またはカードか」、「チップは何パーセントか」といった対応について実践的に学び、貴重な異文化体験ができました。

その後、California Science Center へ移動し、約1時間館内を散策しました。以前はスペースシャトル「Endeavour」の展示がありましたが、2023年末から新展示場が完成するまで見学できないため残念でした。それでも生徒たちは海外の博物館を新鮮に感じ、宇宙とロケットをはじめ、環境と汚染、自然と気候などの科学分野について意欲的に学びました。生徒の中には、「ハリケーンを体験するカプセル」に挑戦したり、ギフトショップで宇宙食をお土産に購入する者もいました。

この日の最後は Dodgers 対 Reds 戦で締めくくりました。ドジャーススタジアムに到着してゲートを通過すると、大谷選手のバブルヘッド人形が全員に配られ、生徒たちは大はしゃぎでした。席へ移動すると、幸い屋根付きシートだったため、熱中症の心配をせず日陰の中で涼しく観戦することができました。しばらくすると大谷選手が登場し、キャッチボールやブルペンで投球練習をする姿を見ることができました。その後、アメリカ国歌をスタジアム全体で斉唱し、プレイボール。

この日、大谷選手は二刀流で出場しました。初回からナイスピッチングを見せ、生徒は大

喜びでした。途中でホームランを打たれて1点失いましたが、大谷選手がその後フォアボールで塁に出ると、味方の打線が爆発して見事逆転。5回を投げ切り、最終的に今季初の勝ち投手として勝利することができました。また、この日の試合は投手復帰後749日ぶりの勝ち投手というメモリアルなものもあり、そのような感動的な瞬間を目の当たりにし、生徒たちは感無量でした。

### ●Little Tokyo（リトル・トーキョー）

Little Tokyo はアメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルス市中心部に位置する、日系アメリカ人の歴史と文化が色濃く残る地区です。20世紀初頭、日本からの移民によって形成され、日本食レストランや和菓子店、書店、文化施設などが集います。

地区内には、日系アメリカ人の歴史や強制収容の歴史を伝える博物館もあり、日本文化の紹介だけでなく、移民の歩みや多文化共生について学ぶことができる場所でもあります。現在は観光地としても知られ、地元の人々や観光客に親しまれています。

### ●California Science Center（カリフォルニア・サイエンス・センター）

California Science Center は、カリフォルニア州ロサンゼルスに位置する、体験型の科学博物館です。宇宙、生命科学、環境、工学など幅広い分野を扱い、来館者が実際に触れて体験しながら科学を学べる展示が充実しています。

館内には、スペースシャトル「Endeavour」（現在非公開）の実物展示があり、宇宙開発の歴史や科学技術の進歩を間近で学ぶことができます。また、環境問題や持続可能な社会をテーマにした展示も多く、現代社会が直面する課題について考える機会を提供しています。

### ●Dodger Stadium（ドジャース・スタジアム）

Dodger Stadium はカリフォルニア州ロサンゼルスに位置する、ロサンゼルス・ドジャースの本拠地球場です。1962年に開場し、アメリカでも有数の歴史と規模を誇る野球場として知られています。

約5万6千人を収容できるこのスタジアムは、青空と山々を背景にした開放的な構造が特徴で、アメリカのスポーツ文化を象徴する施設の一つです。日本人選手も数多く活躍してきた球団の本拠地であることから、日本とのつながりを感じられる場所でもあります。



Cal Poly の英語授業



Little Tokyo①



Little Tokyo②



California Science Center①



California Science Center②



California Science Center③  
(ハリケーンを体験するカプセル)



Dodger Stadium



大谷選手のピッティング



観戦の様子①



観戦の様子②

## アメリカ・ロサンゼルス研修 5日目 (8/28・木)

### 5日目(8/28・木) 行程表

時間	活動	備考
9：00～ 12：00	California Polytechnic State University で語学研修	習熟度別で英語の授業を受講。
13：00	University of California, Los Angles で 昼食	各自フードコートで食事。
14：00～ 16：00	University of California, Los Angles で キャンパスツアー	日本人在学生がガイドを務めた。
18：00	ホームステイに移動	

ロサンゼルス研修5日目。午前中はいつも通り Cal Poly で語学研修を受け、午後はバスで University of California, Los Angles (以下 UCLA) へ向かいました。到着後、カフェテリアのフードコートで昼食を取り、キャンパスツアーに出掛けました。ガイドは UCLA 在学の学生2名が務めました。1人は日本から入学した学生だったため、日本語で案内をしてくれました。もう一方は日系アメリカ人でしたがほとんど日本語が話せなかつたため、英語での案内となりました。約1時間かけて広大なキャンパスを歩き、赤レンガやアーチを多用した風情ある校舎を見学しました。また、UCLA の歴史について学んだり、海外も視野に入れた進路指導を受けることもできました。特に興味深かったのは、「Inverted fountain」と呼ばれる、水が外側ではなく内側に向かって逆流する噴水でした。学生ガイドの説明によると、「池の水に1回触ると卒業が3か月遅れる、3回触ると1年留年する」という言い伝えがあるそうです。しかし、生徒たちにとっては興味のほうが勝り、堂々と水に触っていました。ツアー終了後、UCLA のマスコットである熊の銅像の前で記念撮影をしました。

●University of California, Los Angles (カリフォルニア大学ロサンゼルス校 通称 UCLA)  
University of California, Los Angles は、アメリカ・ロサンゼルスに位置する世界的に評価の高い公立大学です。多様な分野で高水準の教育・研究が行われており、世界各国から多くの学生が集まっています。また、化学、医学・生理学、経済学などの分野において、これまでに多数のノーベル賞受賞者を輩出してきた大学としても知られています。広大で美しいキャンパスと活気ある学生生活が特徴で、学問をはじめ文化やスポーツの面でも高い評価を受けています。



UCLA



UCLA キャンパスツアー①



UCLA キャンパスツアー②



UCLA キャンパスツアー③



日本人在学生による案内



UCLA のフードコートで昼食①



UCLA のフードコートで昼食②



Inverted fountain

# アメリカ・ロサンゼルス研修 6日目 (8/29・金)

## 6日目(8/29・金) 行程表

時間	活動	備考
9：00～ 12：00	California Polytechnic State University で語学研修	習熟度別で英語の授業を受講。
13：00～ 14：30	Round table pizza で昼食及びフェアウェルパーティー	ライアン先生から修了書の授与。
15：30～ 17：30	Ontario Mills Outlet 見学	
19：00	ホームステイ先へ移動	

ロサンゼルス研修6日目。この日の午前で語学研修が全て終了しました。授業が終わると、生徒たちは各クラスで集合写真を撮り、お世話になった先生やスタッフにお土産を渡しました。涙を浮かべながら先生とハグを交わす者もあり、すっかりアメリカの習慣が身に付いていました。

昼食はフェアウェルパーティーを兼ねて Round Table Pizza というピザ屋で取りました。ペパロニ、チーズ、パイナップルなどのピザが並び、生徒たちはバイキング形式で思う存分堪能しました。食事が済むと、1週間の研修を修了した証として、Encompass Experience のライアン先生から修了書が各生徒に渡されました。ライアン先生は、「体調不良による欠席や遅刻が全くなかった」、「最初はコミュニケーションに苦労していたが、少しずつ慣れて自分の意志を伝えられるようになった」などの言葉で生徒たちを讃えました。

昼食後、プログラムの最後として Ontario Mills Outlet を訪れました。生徒たちは、日本にはない海外特有の店舗での買い物を楽しみました。

### ●Ontario Mills Outlet (オンタリオ・ミルズ・アウトレット)

Ontario Mills Outlet は、カリフォルニア州オンタリオ市にある大規模なアウトレットモールです。ファッション、スポーツ、雑貨など幅広いジャンルの海外ブランド店や専門店が集まり、観光客にも高い人気があります。アメリカならではの店舗構成や買い物文化を体験できる施設として知られています。



Cal Poly 最終日①



Cal Poly 最終日②



Cal Poly 学生センターで記念写真



Round Table Pizza で  
フェアウェルランチ①



Round Table Pizza で  
フェアウェルランチ②



ライアン先生より修了書授与①



ライアン先生より修了書授与②



Ontario Mills Outlet

## アメリカ・ロサンゼルス研修 7日目 (8/30・土)

### 7日目(8/30・土) 行程表

時間	活動	備考
9：00～ 10：00	California Polytechnic State University で ホストファミリーとお別れ	
10：00	ロサンゼルス国際空港へ出発	
11：30	ロサンゼルス国際空港到着	
16：30	成田空港へ出発	シンガポール航空。
18：00 (8/31・日)	成田空港到着	
22：00	学校帰着	

ロサンゼルス研修7日目の最終日。生徒たちはホストファミリーの送迎で9時にCal Polyに到着。各生徒はここでホストファミリーに最後のお別れを告げました。写真撮影をする者、手紙を交換する者、涙を浮かべて抱擁し合う者、7日間の研修を締めくくる感動的なシーンとなりました。

ロサンゼルス国際空港到着後、空港内の飲食店で各自昼食を取りました。16：30のフライトまで自由行動があり、生徒たちは家族のお土産を買い、海外の空港での買い物を満喫しました。その後、定刻通り飛行機に搭乗して成田空港へ出発しました。

成田空港に着いたのは8月31日（日）の18：00頃。入国手続きを済ませてスーツケースを受け取り、バスで学校へ向かいました。学校に到着したのは22時頃で、門の周辺には多くの保護者が集まり、生徒たちの帰りを出迎えていました。



Cal Poly にて最後の記念写真①



Cal Poly にて最後の記念写真②



ホストファミリーとのお別れ①



ホストファミリーとのお別れ②



ホストファミリーとのお別れ③



ホストファミリーとのお別れ④



ホストファミリーとのお別れ⑤



ホストファミリーとのお別れ⑥



ホストファミリーとのお別れ⑦



ホストファミリーとのお別れ⑧

## 付記

### ●Encompass Experience（エンコンパス・エクスペリエンス）

Encompass Experience は現地の教育サポート団体であり、ISA と連携して 8 日間の研修を企画・運営した団体です。今回の研修では、毎日通った California Polytechnic State University との仲介役を担い、英語学習を提供してくれました。校長のルーク先生およびリーダーのライアン先生を中心に、語学研修ならびに実地研修の案内・指導が行われました。



中央右：ルーク校長

中央左：ライアン先生

### ◇おわりに

今年度のアメリカ・ロサンゼルス研修は、前橋育英高等学校として初めての取り組みでしたが、大きな事故やトラブルもなく、無事に終えることができました。本研修の実施にあたり、多くのご支援とご協力を賜りましたすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

特に、添乗員の登坂貴様をはじめとする ISA の皆様、現地で教育サポートをしてくださった Encompass Experience の皆様には、研修の企画・運営から現地でのきめ細やかな対応まで、大変お世話になりました。また、この海外研修への参加を快くご承諾くださいった保護者の皆様、そして様々な面でご支援いただいた国際交流の先生方にも、深く感謝申し上げます。

本研修を通して、生徒たちは語学力の向上だけでなく、異文化理解や主体性・協働性など多くの学びを得ることができました。研修初日は、初めての海外渡航や英語環境に対する不安から、英語で話すことをためらうなど、受け身の姿勢が見られる場面もありました。しかし、Cal Poly での語学研修を通じて、自ら英語で話そうとする姿勢が育ち、ジェスチャーや表情を交えながら、積極的に意思を伝えようとする様子が顕著になりました。生徒たちにとって、英語でのコミュニケーションに対するハードルが大きく下がり、自信

がついたと確信しています。

また、St. Paul 高校訪問ならびにエッグ・ドロップの活動を通して、生徒たちは言語や価値観の違いを体感しながら、他者と協働して課題を解決する力を培いました。また、バディとの交流を通じて、英語でのやり取りだけでなく、相手を尊重し理解しようとする態度も育まれました。

さらに、ホームステイや外食体験では、生活習慣やマナー、金銭感覚の違いを実体験として学びました。特に、支払い方法やチップ文化への対応など、自立した行動が求められる場面では、生徒一人ひとりが考え、判断し、行動する力を発揮しました。

このような実体験を積み重ねて、研修終盤には、当初は消極的であった生徒が自ら進んで話しかけたり、別れを惜しんで感謝の言葉を英語で伝えたりする姿が多く見られました。このように、本研修は生徒たちにとって語学研修にとどまらず、異文化の中で自分自身を見つめ、挑戦し、成長する大きな機会となったといえます。そして、本研修を通じて培った力を今後の学校生活ならびに将来に役立ててくれることを期待しています。

(引率 木村聰)